

か た の が は ら

交野ヶ原物語 vol. 15



発行日：2023年7月25日
発行元：天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト実行委員会

第四回星の俳句コンテスト表彰式

今年、第四回星の俳句コンテストが開催され、国内外を問わず世界三十九ヶ国の皆さんから、三三七句の俳句が寄せられました。気候風土は異なっても、世界中の人々が静寂なる満点の夜空を見上げ、この世に生きる者全ての命の輝きのように燦々^{さんさん}と煌めく星たちに、その星たちの輝きに、ある時は悲しみとともに、ある時は喜びとともに、人間は只管に祈り、心を通わせ、その煌めきに心を振るわせてまいりました。今日の混沌とした社会情勢の中にあっても、汚すことなき満天の夜空に、人々は人間の思いを託してきたに違いありません。今回の応募作品を見せていただいて、改めて、星を通じて世界中の人々の心の一端に触れさせていただきました。

この、星のふるさと交野ヶ原から、世界中の人々が見ている星を句題として、日本の俳句を募集し、満天の地上絵の如くこの地上にそれぞれの人々が心を通わせ、共に生きていく道を目指し、第二回星の俳句コンテストの発信がなされました。今こうして星を通じて人々の心の絆が深まることに、心から喜んでおります。心の交わりが、もつとその輪が広がることを切に願っております。この俳句コンテストには、多くの人々の献身なる奉仕がありました。心の交わりがありました。改めて深甚なる謝意を表します。

星田妙見宮 宮司 佐々木 久裕

first freckle
she asks who names
the stars
初そばかす／星々名付けたのは誰か／彼女問う
Edward Cody Huddleston アメリカ

emptiness
walking back and forth—
starry night
空虚が／前後に歩く／星空
Bakhtiyar Amini タジキスタン

names forgotten
and also never known...
the starry sky
忘れられ／決して知られぬ名前...／星空
Artūras Šilanskas リトアニア

starry sky
the gravitational pull
between us
星空／私たちのあいだに／引力
Eugeniusz Zacharski ポーランド

佳作 海外の部

Honorable mention Overseas Division

black and white film—
her dream of becoming
an astronaut
白黒映画／宇宙飛行士になる／彼女の夢
Barbara Strang ニュージーランド

black holes
our end game
goes farther than stars
ブラックホール／われらの終盤戦／星々のかなたへ
Darrell Lindsey アメリカ

more and more stars
our village
nearer and nearer
星々増えて／われらの村／ますます近し
Saumya Bansal インド

taking the time it takes the stars
時間をかけそれは星々となる
Jim Kacian アメリカ

全8作品

第4回星の俳句コンテスト ご協賛御礼 順不同・敬称略

株式会社スリーエス電器製作所 株式会社アラカワフードサービス 株式会社グリーン京阪
枚方ビオルネ 大門酒造株式会社 株式会社仙波鉄工所 株式会社平田設備工産
株式会社不二鉄工所 合建工業株式会社 向井鉄工株式会社
株式会社エイチ・ツー・オー商業開発イズミヤ枚方店
日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社
株式会社カミタケモータース 山野酒造株式会社

～天空の地上絵を日本遺産へ～
天の川・交野ヶ原プロジェクト

みなさまの「交野ヶ原」にまつわる記事・写真等
お待ちしております!!
★問い合わせ★ katanogaharapj@gmail.com

交野ヶ原 日本遺産

『交野ヶ原物語』とは
私たちが天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトは、この交野ヶ原を、文化庁が認定する日本遺産へ申請・登録を目指し、日々、活動を続けております。

日本遺産の申請・登録への道のりは長く険しいものです。また、念願叶い、日本遺産へ登録されたとしても、交野ヶ原に縁のある方々にとって、「他人事」であっては日本遺産の看板も意味がなくなってしまう。

私たちは、交野ヶ原をより生活の中で身近に感じてもらいたいと考え、『交野ヶ原物語』を刊行しました。交野ヶ原という場所にまつわる過去・今・未来の時間軸、そして現代に生きる私たちの生活という横軸をつなぎ、老若男女が時を超えても手に取りたくなる『交野ヶ原物語』を皆様と共に創り上げてまいります。

第4回星の俳句コンテスト 昨年を上回る世界39カ国から3817通の応募をいただきました！

第4回星の俳句コンテスト開催となった令和5年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、コロナ禍以前の活気が戻ってきた年となりました。昨年、3年ぶりに七夕祭を開催した星田妙見宮への人出は約1万人にものぼり、混雑回避のため、今年星の俳句コンテストの開催日が7月6日に変更となりました。

4月から5月末までの募集期間で集まった作品の数は、3817通でした。昨年から約800通増え、海外からの応募も増加。少しずつ星の俳句コンテストの認知度も上がり、同時にこの交野ヶ

原の周知にもつながってきているのではないかと思います。

おかげさまで表彰式当日は好天に恵まれ、4名の受賞者の方が現地にお越しください、2名の方がオンラインでご出演いただきました。その他、ビデオレター参加3名・コメント参加3名）オンラインでは、音声のハウリングが起こり、受賞者様にはご不便をおかけしたこと、お詫び申し上げます。次回に向け改善をはかる所存です。

以下、受賞作品・佳作作品をご紹介します。（敬称略）

審査員(夏石番矢)グランプリ

手話の手の冬の銀河の話かな

山本純人(埼玉県坂戸市)

大阪府知事賞

銀漢のしんがりにある祈り壺

瀬戸内光(山口県光市)



枚方市長賞

恐竜も見ただろうか暗やみの北斗七星

谷垣望恵(枚方市立禁野小学校)



交野市長賞

足で踏み足跡つけて星作る

西川瑞姫(大阪桐蔭中学校高等学校)



交野市教育長賞

戦争はもうやめようよお星様

南波映花(枚方市立東香里小学校)



枚方市教育長賞

静脈に凹凸の有り早星

水野結雅(愛媛県立今治西高等学校伯方分校)



佳作 小学生以下の部

交野市立藤が尾小学校

ふるさとへ戻ってきたら星二つ

園田美羽

春日東野幼稚園(2名)

黄色い星中に入ってみたらどんなかな

室琴葉

おほしさまそのさきにはなにがある

馬場紬

枚方市立禁野小学校(6名)

思い人星流れるたび思いたす

小松葵

リゲル海面から飛ぶ海豚の生まれ変わり

寺西優衣

今日だけは織姫のよう彼に会う

永井くるみ

天の川ほんとのすがたは星の町

甲斐利庵

その日の夜空に星の人々姿を見せる

浅田悠樹

見上げたら星が走った手をたたく

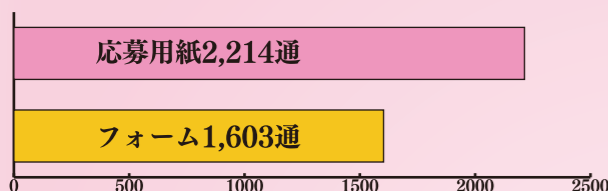
大沼七海

全9作品

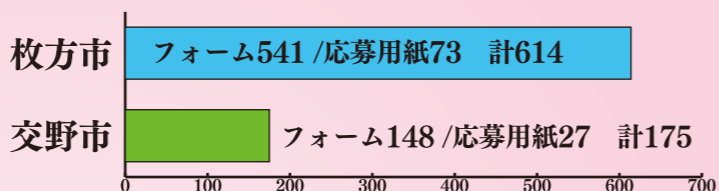
今回は、小学生以下の部9作品、中高校生の部13作品、一般の部12作品、海外の部8作品の計42作品が佳作に選ばれました。

星の俳句コンテストを分析してみた!?

応募形式の割合



枚方・交野からの応募数



海外からの国別応募数

①アメリカ24通 ②ブルガリア11通 ③インド10通

イギリス9 / クロアチア9 / セルビア9 / ルーマニア8 / ニュージーランド7 / ポーランド7 / リトアニア6 / カナダ5 / モロッコ4 / オーストラリア3 / ボスニアヘルツェゴビナ3 / フィリピン3 / ドイツ3 / イタリア3 / ベルギー2 / インドネシア2 / アイルランド2 / ナイジェリア2 / タジキスタン2 / ※以下各1通ずつ アゼルバイジャン / ブラジル / コロンビア / オランダ / フィンランド / フランス / ガーナ / ハンガリー / マレーシア / モンゴル / ロシア / スロベニア / スイス / チュニジア / トルコ

2通以上応募があった学校・園

- 愛知県立幸田高等学校
- 茨城県立結城第二高等学校
- 岩手県立水沢高等学校
- 大垣市立墨俣小学校
- 大阪桐蔭中学校高等学校
- 大阪府立交野高等学校
- 岡山龍谷高等学校
- 海城中学高等学校
- 春日東野幼稚園
- 交野市立藤が尾小学校
- 岐阜県加茂郡川辺町立川辺中学校
- 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
- 済美平成中等教育学校
- 四條畷学園高等学校
- 竹富町立波照間小中学校
- 智辯学園和歌山高等学校
- 東京都立大泉高等学校附属中学校
- 西宮市立山口中学校
- 枚方市立禁野小学校
- 枚方市立蹠路中学校
- 枚方市立杉中学校
- 枚方市立東香里小学校
- 枚方市立枚方第二小学校
- 福島県立磐城高等学校
- 船橋保育園
- 宮城県立日南高等学校
- 山形県立山形東高等学校
- 履正社中学校・高等学校

佳作 一般の部

豆電球あふれる星の蛇口

野谷真治(神奈川県中郡)

笛太鼓銀河に溶けて風寒し

川口一壽(神奈川県海老名市)

和太鼓の月裏方太陽星まつり

賀川ひろみ(神奈川県茅ヶ崎市)

流れ星ぶつかりさうな小海線

羽住博之(東京都江戸川区)

とほくとほく星の生まれて楯火爆ず

押見げげば(大阪府和泉市)

夏の星良い場所取ったへびつかい

井深靖久(愛知県清須市)

こんなに星は沢山あるから謎の物体が混

ざっててもいい

福本亜矢子(広島県福山市)

初恋や銀河から降る星の唄

杉本湘路(神奈川県川崎市)

春の星ひとつ落として龍帰る

松山りさ(北海道札幌市)

天狼や深きしじまのカルデラ湖

大森則子(栃木県鹿沼市)

天の川いつか一人になる二人

鎌田誠(北海道札幌市)

星待ちの夜へ義眼の扉が来る

未補(長野県須坂市)

全12作品

佳作 中高生生の部

空紅く教室の中は流れ星

西岡主税

山形県立山形東高等学校

戦艦の砲塔の先星月夜

木村幸人

埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園

天の川君はいまだに泣いている

豊島縁

川辺町立川辺中学校

君が弾くその旋律は星のよう 三品明日香

済美平成中等教育学校(2名)

銀河の果また銀河ある冬景色 瀬野竜旺

星座砕けし雪なるや春の雪 青山和加

宮崎県立日南高等学校(2名)

僕たちは星降る夜に巡り合う 内田幹太

母の魔法星型にんじん好物に 根本ひなた

海城中学高等学校(2名)

流星やかつて屍埋めし場所 武藤龍之介

冬銀河ネジの抜けたる腕時計 遠藤泰介

大阪桐蔭中学校高等学校(3名)

ながれ星いっぱいあるとわらう姉 原友香

見えますかあれが噂の地球です 大下粹

オリオン座僕が描けば僕のもの 馬見塚健吾

全13作品

審査員グランプリ作品講評

グランプリは聾啞学校の先生がお作りになった俳句です。一般的に、我々は目で見たり耳で聞いたりした言葉で話しているのですが、手話という、身振り手振りで言葉を表してコミュニケーションをする中で、身振り手振りで伝える冬の銀河はより貴重で、神様の手のような、実際の星を作っているような感じがします。

私たちは都会で生活していると星が見えず、スマホばかり見てスマホの狭い画面ばかりに集中するのですが、星空を想像したり考えたり見たりする中で、宇宙の創世みたいなもの、何か日常の規則や利益、そういったものから離れた、非常に純粋な何かを生み出すといった、それだけの存在そのものの素朴で初々しい姿が、星の俳句コンテストの入賞作にかなり顕著に出てきたと、第4回の審査結果を見て改めて思っています。

宇宙創世にもつながり、昔の人たちの古い心ともつながるような、しかもそれが現代人によつて詠まれるという、そういう俳句が来年もたくさん寄せられることを期待しています。

～表彰式での講評より一部抜粋～



▲ビデオレターで受賞の感想や作品に込めた想いをお話いただきました。

小学生以下の部 大賞
おほしさまごりらだんすをおどろうよ
日好 晟登(春日東野幼稚園)

中高校生の部 大賞
母親の怒りげんこつ流れ星
近藤翼(茨城県立結城第二高等学校)

交野ヶ原物語賞
Katanogahara-Monogatari Prize
victims of war
replacing the stars
one by one
戦争犠牲者 一つずつ 星に置き変わる
Goran Gatalica(Croatia)

海外の部 大賞
Overseas Division Grand Prize
neighbouring stars—
on a bamboo branch
I hung a dream
星々近く 竹の枝に わが夢吊るす
Maria Tosti(Italy)

星田妙見宮賞
つかまえた君のその手が流れ星
杉山博代(静岡県静岡市)



▶壇上中央の画面に受賞者のビデオレターや作品を投影。

◀一般の部大賞の福岡さんは遠方にもかかわらず広島県からお越しくださいました。実行委員一同心より感謝申し上げます。

第4回星の俳句コンテスト ができるまで

おかげさまで今年で四回目を迎え、ご協力いただける場所や団体、コンテスト自体のノウハウも増えてきました。俳句の募集から表彰式までを一挙公開！



俳句の応募用紙は、例年、枚方・交野市内の神社や、生涯学習センター、図書館をはじめ、イズミヤ枚方店様、枚方ビオルネ様といった商業施設にも置いていただいています。今年もイズミヤ枚方店様の正面玄関入ってすぐのエスカレーターホールで、4月から5月まで応募ブースを設置させていただきました。このブースで集まった俳句の数は54通。昨年よりも10通増加！

募集編



▶枚方市生涯学習センターや交野市役所のわいわいネットコーナー等の市関連施設にも置いていただいています



短冊系付け編

夏石先生の審査が終わった俳句は、すべて星田神社に集められます。データとして保管するため、まずは作品一枚の写真撮影をしてから名前や住所欄を切り離し、短冊のみの状態にします。その後、星田妙見宮の境内の笹に飾るため、実行委員メンバーの手でひとつひとつ紐付けをしていきます。海外から応募のあった英語俳句は、関西外国語大学のボランティアサークル「ひまわり」の学生さんにお手伝いいただき、150通を手書きしていただきました。



▲13名がかりで約4時間かかってこの日の分が完了！



▲タコ糸をホッチキスで留めます



▲ひまわりさんが英語俳句を丁寧に記入

リハーサル編



▲現場で配線や機材位置を確認

◀当日は天候にも恵まれ、配線や機材の動作確認も順調に終わりました

今年はりハーサルを6月18日に実施。司会の立ち位置や機材と電源、配線の距離感などを確認し、表彰式本番に備えました。当日の開会前にも全体の通しを行い最終確認しました。



表彰式当日は、今回初の試みとなるオープニングアクトからスタート。地元郷土芸能として、今年3月に大阪府無形民俗文化財に指定された「交野節」を、交野ヶ原交野節・おどり保存会の皆様に披露していただきました。



映後、実行委員長代行の事務局長の開会の辞、顧問の司会長の挨拶が挨拶。来賓は、交野市長・交野市教育長・枚方市教育長がご越しになり、ご挨拶を賜りました。



▲参加者の皆様との集合写真

表彰式当日編



▲表彰式会場の石舞台前では多くの方が観覧されていました

ご当地ゆるキャラ、交野市おりひめちゃん、枚方市ひこぼしくん、そして、大阪府広報担当副知事もずんの紹介の後、それぞれの賞の発表がありました。今年の審査員(夏石番矢)グランプリ賞を受賞された山本純人様には、オンラインで生出演していただきました。夏石先生による賞状の読み上げの後に、会場のスクリーンに映像が映し出され、司会の質問に答える形で、受賞の知らせを聞いた時の感想と、作品に込めた想い等をお話いただきました。



受賞された皆様
おめでとうございます！！

表彰式YouTube

ぜひ見てモア～♪



表彰式当日の様子は左のQRコードからYouTubeで見ることができます！

▶表参道入口付近には屋台も出て地元子ども達や家族連れが後を絶ちません



▲星田妙見宮参道にはいたるところに大きな吹き流しとたくさんの俳句が飾られておりとても壮観です